

市川市立博物館 平成29年度事業実施状況に対する外部評価

評価基準 A：参加者数、内容、参加者満足度すべてに見込みを上回る成果を得ることができた。（目標の90%以上）
 B：ほぼ見込みどおりの結果を得た。（目標の80～75%程度）
 C：改善の余地があるものと考えられる。（目標の60%程度）
 D：今後の計画に際しては、実施を含めて検討する必要があると思われる。（目標の50%に満たない）

事業種別	館名	館別意見（概略）	館別自己評価	総合自己評価	外部意見等	外部評価
収集・保管及び調査研究	考古	市史編さん事業と連動した形で市内における自然貝塚の調査を進め、見込み通りの成果があった。また、史跡管理策定事業と連動して、遺跡の全体図作成に着手したが、曾谷貝塚の報告書は作成できなかった。	B	B	協議会における意見の概要	協議会で結論を得る
	歴史	借用資料整理や寄贈図書の整理登録は年間を通して実施することができたが、市内学校所蔵資料調査は、耐震強度不足の影響により一部の学校しかできなかった。	B			
	自然	収蔵資料やスライドフィルムのデジタル化が進行しなかった。また、各種研究会についても参加が困難であった。	C			
展示	考古	常設展示室をLEDに交換したことにより、見やすい展示になった。また、ホール小展示や速報展においてテーマを決めての展示を行った。	B	B		
	歴史	企画展「浮世絵の世界と市川『利根川東岸式覧を中心に』」や企画展「発見体験昔の暮らし」・「季節の展示」を実施し、展示の充実を図った。	B			
	自然	ホール小展示では、飼育展示や化石の展示を中心に実施した。また、展示解説については、来館者の動向に合わせて対応した。	B			
市民向けの教育普及	考古	博物館講座や講演会は、ほぼ見込み通りの結果を得ることができた。また、博物館フェスティバルについても概ね好評であった。	B	B		
	歴史	博物館講座や季節の行事体験等については、受講者や参加者の増加により成果を上げることができた。	B			
	自然	自然観察会、野草名札付け、大町自然観察園環境整備等は例年実施している行事であり実績は安定している。	B			
学校関連の教育普及	考古	学校巡回展・出前授業や小学生向け体験学習は学校からの申込みも多く好評であった。また、教員を対象した博物館利用研修会を受け入れ、好評であった。	B	B		
	歴史	小学生向け体験学習については、多くの学校が満足しており好評であった。また、社会科副読本「わたしたちの市川」の制作協力を行った。	B			
	自然	出前授業や小学生向け自然体験学習等は、例年通り実施した。また、教員研修会への支援も行った。	B			
地域連携の教育普及	考古	博物館友の会主催の見学会や公民館講座を実施し好評であった。	B	B		
	歴史	博物館友の会事業への協力や公民館講座への講師派遣、また、市民団体や地元民俗行事への協力を例年通り行った。	B			
	自然	公民館や市民団体等の講座講師依頼や出張展示・展示解説及び出張体験指導の依頼に対し適切に対応した。	B			
運営	考古	「考古・歴史博物館だより」を年4回発行し、事業内容をアピールした。	B	B		
	歴史	「考古・歴史博物館だより」を年4回発行し、博物館事業を理解してもらう手立ての一つとなった。	B			
	自然	「自然博物館だより」や自然博物館行事案内を発行し、事業内容をアピールした。	B			

歴史博物館を会場とした短期企画展

「堀之内地区一帯の土地利用の変遷とかつての自然景観」

1. テーマ

歴史博物館がある堀之内地区の土地利用の変遷とかつての景観を紹介する。

2. 趣 旨

歴史博物館がある堀之内地区やその周辺は、東京外かく環状道路の開通にともない、景観が大きく様変わりした。ただ、景観の変化は突然のものではなく、昭和から平成の時代にかけて連続的に進行している。

この企画展では、市史編さん事業の中で得られた土地利用図や古い写真資料を利用し、博物館がある堀之内地区やその周辺のかつての様子を振り返る。地域に古くからお住まいのかた、また、新しく住まわれたかたも対象に、地域の変遷を再確認する場として展示を提供したい。

3. 会場と期間

会 場 歴史博物館特別展示室

期 間 平成 30 年 5 月 29 日（火）～平成 30 年 8 月 19 日（日）